

ゆめきらきらマグネット 作り方説明書



NPO法人ソーシャル・デザイン・ファンド

① 材料の準備

1. ガラス玉
2. 磁石
3. 接着剤
4. シール
5. 雑巾
6. ホワイトボード/磁石のくっつくもの

6



※ステンレス製のものが貼りつき具合も強く、
作業に適してします。(100円ショップのキッチンバットなどで十分です)



② 磁石を拭く



1. 濡らして搾った雑巾を準備する



2. 棒状のまま円周をきれいに拭く



3. 表, 裏をきれいに拭く



4. 磁石を並べ, 欠けているマグネットが無い
かチェックする.

※磁力で磁石同士がぶつかり欠けることがあるので注意する

3

③ シールを貼る



1. 指の腹を使って透明シートをはがす
※爪を使うとはがしにくいです



2. 磁石の中央にシールを貼る



※1. 磁石の直径がシールの直径よりも小さくなっています

※2. 一度貼った後, はがす事もできますが粘着力が落ちるので気を付けて下さい

4

④ ガラス玉の用意



1. ガラス玉が汚れていないか、
欠けていないかチェックする
→綺麗な濡れタオルで拭く



2. ガラス玉の表と裏をチェックし、
向きを揃えるなど間違わないように
工夫する

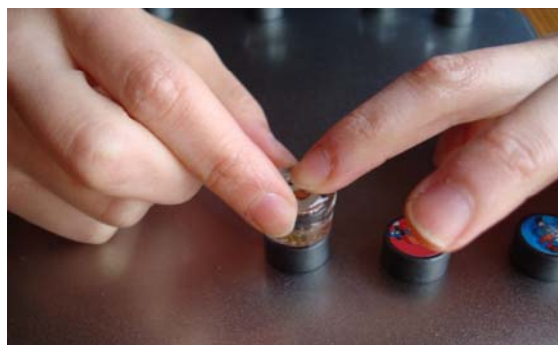
表面の特徴: ツルツルしていて、ぷっくりと膨らんでいる
裏面の特徴: ザラザラしていて、平らになっている

5

⑤ ガラス玉と磁石をくっつける



1. シールの中央部分に接着剤を出す
※分量の詳細は次ページ



2. ガラス玉を中央目がけて上から置き、片手で押さえながら軽く圧着させる

6

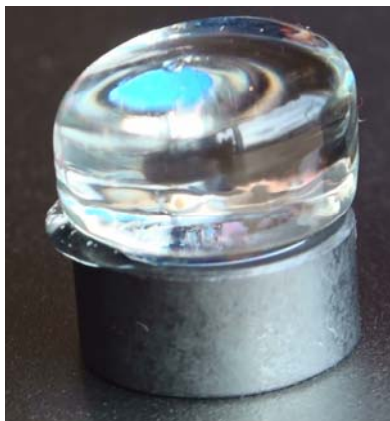
接着剤の分量について



磁石が強力なので、接着剤が少なすぎると乾燥した際にポロッと取れてしまいます。接着剤の分量は「少し多いかな」くらいの気持ちで出してください。（右写真参照）ガラス玉を乗せた後、接着剤でシール全体を包み込むイメージです。ガラス玉を乗せて圧着させた後、横から接着剤が顔を覗かせている位が安心です。多少のはみ出し具合であれば乾燥すると透明になるので目立ちません。しかし、強く押しすぎると失敗例のようになるので、適当な力加減が必要です。

7

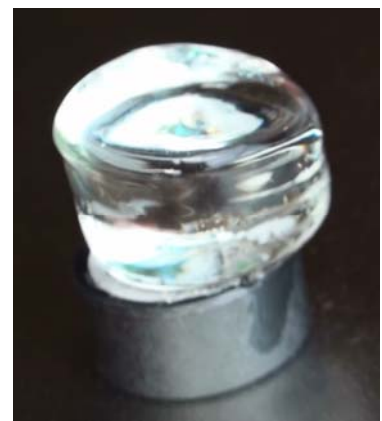
失敗例



1



2

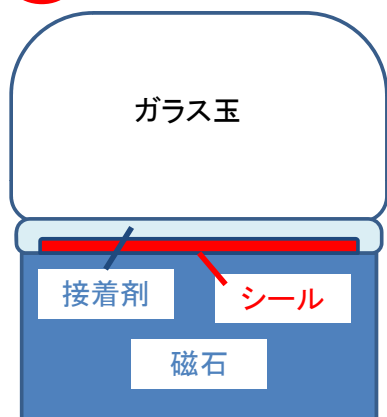


3

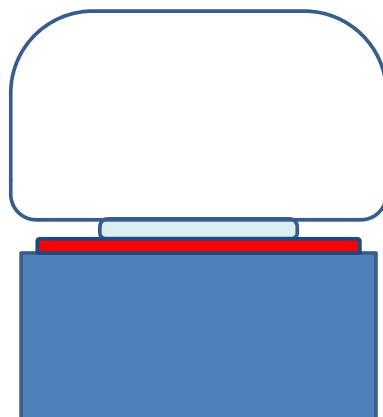
1. 接着剤があふれた→接着剤の量が多すぎ / ガラス玉を動かしすぎ / 押し付けすぎ
2. 磁石が接着剤で汚れた→接着剤がついた手で磁石に触れた / 接着剤が横に垂れた
3. ガラス玉がずれている→接着剤がゲル状なので圧着させてもずれてくることがあります。接着後、約5分間はずれが生じていないか時々チェックしてください。

8

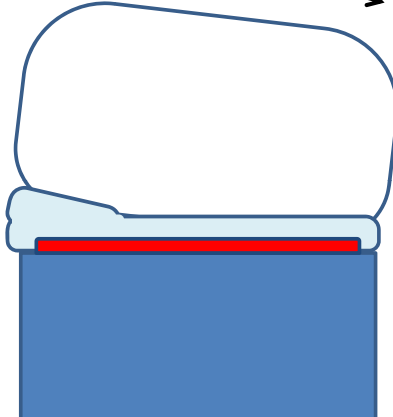
接着剤の乗せ方、注意点



接着剤がシールを包み込むように乗せ、ガラス玉・シール・磁石の3つが完全に接着できています。



接着剤の量が少なく、シールの上面のみに付いています。シールがはがれた際、ガラス玉も同時に取れてしまいます。



接着剤が一部分に偏って付いています。乾くまでにガラス玉がずべて移動してしまい、“ズレ”の原因となります。
→出す量が多くなっても、全体に均等に伸ばせば垂れない・ズレない場合があります。

- ※接着剤は出しすぎを恐れず、しっかり使用してください。
- ※接着剤を置いた後 乗せるガラス玉をつかって均等に伸ばすと、端まで行き渡り効果的です。

⑥ 乾燥させる



注意

ガラス玉を乗せてずれを修正した後は、それ以上触らずに作業ボードに貼ったままの状態で作業を終了してください。少なくとも2～3時間は放置して乾燥させてください。

⑦ 検品

※詳細は別紙検品マニュアルをご参照下さい

【検品のポイント】

◆ガラス玉について

- ①指紋や接着剤で汚れていないか→雑巾で拭く、こすっても取れない場合は不良品として処分
- ②欠けていないか→危ないので不良品として処分
- ③裏表が逆にくっついていないか→商品価値が落ちるので不良品として処分

◆磁石について

- ①汚れていないか→雑巾で拭いても取れない場合は不良品として処分
- ②欠けていないか→磁石がひどく欠けている場合は不良品として処分

◆全体

- ①ガラス玉がずれてくっついていないか→ずれていたら不良品として処分
- ②接着剤がはみ出しすぎていないか→見苦しい場合は不良品として処分
- ③シールが寄りすぎていないか→磁石の黒い部分が見えすぎの場合は不良品として処分

11

⑧ 完成



これでゆめきらきらマグネットの完成です！
きれいに包装して いざ！納品です☆

12